

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	岐阜県			代表者名	岐阜県知事 江崎 禎英
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル戦略推進課	連絡先電話番号	058-272-8153
担当者役職	市町村支援係長	担当者氏名	中村 裕	連絡先E-mail	
住所	500-8570 岐阜県岐阜市藪田南2-1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	市町村DX人材支援事業
概要	市町村のDX担当や推進リーダー職員を対象とした、DXマインドセット及び関係構築を目的とした研修講師をしていただきたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	841	令和8年2月16日	講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月30日	事前打合せ&講演(実地)	9時30分	17時00分	60
			活動時間（分）	390	
2-2. 派遣場所	会場名	岐阜県庁20階 2001会議室		最寄駅	西岐阜
	所在地	岐阜市藪田南2-1-1		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	長尾 飛鳥
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	事前の打合せにおいて、当課が研修を通じて達成したい成果を十分に共有できたため、研修内容が的確に目的と合致したものとなった。 また、研修の最後に「72時間以内に実施する行動」を参加者に宣言させ、グループ内で共有する仕掛けは、研修効果を単日の学びに留めず、行動変容につなげるうえで大変有効であった。
アドバイザーへの要望事項	若手職員の改善マインドやモチベーション向上に繋がる職員研修に加え、業務量を適切に減らし、生産性を高めるための具体的な手法を習得できる研修を実施したい

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	40人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	40			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	多くの市町村では、DXに関する全庁的な意識改革が十分に進んでいない。特に小規模自治体においては、デジタル化の段階に留まり、住民サービス向上や組織変革といった視点が不足している。また、自治体間の連携やノウハウ共有が弱く、同様の課題を抱える団体が孤立する傾向がみられる。さらに、DX推進リーダーの育成が体系化されておらず、役割認識や巻き込み力の不足がプロジェクト停滞の要因となっている。				
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	市町村DX担当職員およびDX推進リーダーに対し、DXの目的や進め方を理解し、自ら行動できるマインドセットを醸成する。併せて、市町村間での課題共有と学び合いを促すことで、持続的な広域連携を構築する。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	研修前半では、アドバイザーの経験を踏まえたDX推進に必要なマインドセットについて講義を実施。 後半では、参加者が組織の将来像を描いたうえで、「職員としてどうありたいか」をグループディスカッションし、最後に「今すぐ実行できる行動」を設定・共有した。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	各市町村職員が、現場との対話や小さな成功体験の積み重ねなど、DX推進に必要な具体的手法を学び、行動につながるマインドセットを獲得した。 また、自治体間の仲間意識が醸成され、今後のコミュニティ形成が期待できる。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない マインドセット向上は継続的に実施するものであり、具体的成果物はない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の研修では、DX推進リーダーや若手職員の参加を期待したが、参加者はDX担当職員が中心となった。今後は、対象層へのアプローチ強化が必要である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修の満足度・理解度ともに、多くの参加者がポジティブな回答であった。ワークを通じた意見交換ができた点への評価や、「良い刺激になった」「県内全体でDX推進に向かう方向性が共有できた」といった声から、研修の実施目的であった職員のマインドセット醸成は十分に達成されたと判断できる	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある 次年度予定している県の市町村支援事業の中でも職員へのマインドセット研修やDX推進リーダー研修などの支援メニューを整え、研修をきっかけとしたDX人材育成に対する支援を継続する。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DX推進の目的が住民サービスの向上であることを共通認識とし、各市町村がDXを加速、自走できる状態を目指す。これにより、住民課題に直結する施策に職員が集中できるようになり、地域全体の満足度向上につながることを期待する。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可

掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における**地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」**を数枚程度貼り付けて下さい。

